

**MRガイド下集束超音波治療とは……**

**本態性振戦とは……**



MRガイド下集束超音波療法は画期的な非侵襲的（メスを使わない）治療で、医師は頭蓋の中の画像をMRIで確認しながら、治療部位を特定し超音波を一点に誘導させ照射、治療の状態を常にモニタリングします。温度の測定も行い、標的組織の熱凝固状況を画像情報と温度情報から確認します。この技術により比較的安全で、効果的な非侵襲的治療が可能になりました。厚生労働省の認可済みであるMRガイド下集束超音波療法の機器エクサプレートは本態性振戦の非侵襲的な外科的治療用医療機器として臨床利用が進んでいます。

**▼ 症状**  
本態性振戦はふるえのみを症状とする病気で、ふるえてペンや箸をうまく使えなかったり、コップなどの飲み物をこぼしたり、声が震えるなどの症状がでます。手足などを動かす信号を調整する脳の部分が、変調をきたして症状を起していると考えられています。日常生活に不自由をきたすようになると治療が必要です。

**▼ 治療法**  
従来の本態性振戦の治療法では、薬物療法のβ遮断薬や抗てんかん薬があり、脳の手術を要する場合には、脳の病変部を電極で凝固する高周波凝固術と胸のペースメーカーに似た装置を植え込み、病変部に極を挿入し電気で刺激を与え調整する脳深部刺激療法があります。いずれの治療法も副作用や合併症を伴う恐れがあります。一方で集束超音波治療は切らない治療として、患者の身体に負担が少ない治療として注目されています。

集束超音波治療機器エクサプレートによる治療に実績のある病院



医療法人社団 英明会  
**大西脳神経外科病院**

兵庫県明石市大久保町江井島1661-1  
TEL.078-938-1238(代表)  
<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

本院の特長は先進機器をより安全かつ効果的に使用するために、定位脳手術の専門家である機能的脳神経外科医の指導を得ながら治療していることです。病状に悩まれることなく気軽にご相談ください。（大西英之理事長・院長）

**兵庫県**  
本院は2000年に、兵庫県東播磨地域で先進医療機器を備え救急に対応した本格的な脳神経外科病院として、設立されました。以来、人々の健康と社会福祉に貢献し続けたこと

**ベストドクター選出は信頼の証  
機能的脳神経外科医と共に治療**

が認められ、米ベストドクターズ社が選定するベストドクターに4回連続選出されています。集束超音波治療器は3年前に導入、翌年から本態性振戦の治療を開始し、20件の治療件数を数えています。

**愛知県**



医療法人 偕行会  
**名古屋共立病院**

名古屋市千川区法華1-172  
TEL.052-362-5151(代表)  
<http://www.kaikou.or.jp/kyouritsu/>

1979年に透析医療を行う病院として開業した当院は、近隣病院と連携して地域医療の底上げに努めながら、一方で脳への精密な放射線治療装置ガンマナイフ、がんの放射

**地域医療の土台を築きながら  
先進医療に積極姿勢で挑む**

線治療装置ノバリス、本態性振戦治療の集束超音波装置を導入するなど、先進医療を積極的に取り入れてきました。本態性振戦は診断が大事なことから、治療も含めて名古屋大学医学部脳神経外科と連携、東海エリア初導入となった集束超音波治療器で、本年7月から機能的脳神経外科医という専門医と協力しながら、しっかりと診断と専門的な治療体制を整えて治療に臨んでいます。（津川隆彦集束超音波治療センター長）

**大阪府**



医療法人友誼会  
**彩都友誼会病院**

大阪府茨木市彩都あさぎ7-2-18  
TEL.072-641-6898  
<http://www.saito-yukoukai-hp.jp/>

本院は2007年にがん治療に重点を置く民間病院として開院し、一切らずにがんを治療する「ことを目指してきました。14年に導入した集束超音波治療器も開頭手術をせず本

**「一切らずに治療する」をモットーに  
集束超音波治療で実績を積む**

態性振戦を治療することが目的です。大阪大学と連携し既に15件の治療を終え、骨密度の問題で治療を断念したケースを除き好結果を得ています。じつは集束超音波という治療法は20年ほど前に子宮筋腫の治療で活用したことがあり、本態性振戦の治療にその経験が活かされました。今後、パーキンソン病、そして当病院の専門分野である脳腫瘍などが治療に活用できることを望んでいます。（中村仁信院長・大阪大学名誉教授）

**愛媛県**



医療法人和昌会  
**貞本病院**

愛媛県松山市竹原町1-6-1  
TEL.089-945-1471(代表)  
<http://sadamoto-hsp.jp/>

また愛媛大学脳神経外科と連携し高度な医療の研究・提供に努め、チーム医療により万全の体制を整えています。（伊賀瀬圭二脳神経外科部長）

本院は1971年に中四国地方で脳神経外科専門病院のさががけとして開設されました。最近でも3T MRI装置、フラットパネル搭載型多目的血管撮影装置、4D超音

**先進機器の積極的な導入と  
チーム医療で万全の治療体制**

波診断装置等の先進医療機器の早期導入とそれらの研究実績が国内外で高く評価されています。2013年には日本で2台目となる集束超音波治療器・エクサプレートを導入し、本態性振戦の低侵襲治療に道を開きました。既に臨床試験10例、自由診療5例の患者さんを治療しています。